

北海道新幹線新小樽(仮称)駅周辺まちづくり計画(案)

構成案

第1章 概要

- 1-1 計画の概要 (計画の位置付け、計画対象エリア)
- 1-2 北海道新幹線の概要 (整備概要、所要時間、車両 等)

第2章 現況と課題

- 2-1 小樽市の現況 (人口、観光、主要施設、交通、港湾、商業、上位・関連計画の位置付け)
- 2-2 新小樽(仮称)駅周辺地域の現況 (当該地域の土地利用状況、人口、交通)
- 2-3 市民等のニーズの把握 (ワークショップ、アンケート調査)
- 2-4 北海道新幹線整備に伴う効果
- 2-5 北海道新幹線の整備に伴う課題

第3章 まちづくり方針

- 3-1 整備コンセプト
(新幹線整備効果を地域全体に活かすまちづくり『小樽の新たな玄関口の形成』)
- 3-2 整備方針
 - ①調和のとれた土地利用の形成・観光との連携
 - ②交通ネットワークの形成
 - ③地域環境を生かした街並み・景観等の形成
 - ④交通結節点における機能・施設の導入

第4章 整備計画

- 4-1 計画条件の設定
(新小樽(仮称)駅の利用者数の予測)
- 4-2 土地利用計画
(土地利用計画、景観整備の方針)
- 4-3 施設整備計画
(駅舎、駅前広場、駐車場)
- 4-4 道路計画
(交通量推計)
- 4-5 整備イメージ
(パース)

第5章 2次交通対策・ソフト対策

- 5-1 2次交通対策
(方向性、取組案)
- 5-2 ソフト対策
(必要性、方向性、取組案)

第6章 計画の推進体制

- 6-1 推進体制 (官民連携組織の設立)
- 6-2 開業に向けた展開プログラム
(施設整備、駅周辺まちづくり、2次交通対策、ソフト対策のスケジュール(短期・中期・長期))

平成26年度報告書

平成27年度報告書

平成28年度検討